

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんおおさかふいるはーもにーきょうかい 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会	団体ウェブサイトURL <a href="https://www.osaka-phil.com/">https://www.osaka-phil.com/</a>	
代表者職・氏名	理事長 奥 正之		
制作団体所在地	〒 557-0041 最寄り駅(バス停) 大阪メトロ四つ橋線「岸里」駅 大阪市西成区岸里1-1-44		
電話番号	06-6656-7711		
ふりがな 公演団体名	おおさかふいるはーもにーこうきょうがくだん 大阪フィルハーモニー交響楽団	団体ウェブサイトURL <a href="https://www.osaka-phil.com/">https://www.osaka-phil.com/</a>	
代表者職・氏名	常務理事 小川 弘		
公演団体所在地	〒 557-0041 最寄り駅(バス停) 大阪メトロ四つ橋線「岸里」駅 大阪市西成区岸里1-1-44		
制作団体 設立年月	昭和25(1950)年 4 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	※別添あり(別添①参照)	※別添あり(別添①参照)	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	野瀬 遼太郎
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	荒堀 秀太
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:nose.ryotaro@osaka-phil.com">nose.ryotaro@osaka-phil.com</a>		

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<p>昭和22(1947)年1月 朝比奈隆を中心として大阪フィルの前身「関西交響楽団」を結成          昭和25(1950)年4月 「社団法人関西交響楽協会」を設立し、関西交響楽団の助成にあたる          昭和35(1960)年5月 関西交響楽団を解散、新たに「大阪フィルハーモニー交響楽団」を結成          昭和57(1982)年5月 協会の名称を「社団法人大阪フィルハーモニー協会」に改める          平成8(1996)年4月 社団法人大阪フィルハーモニー協会が、大阪フィルハーモニー交響楽団(任意団体)を統合          平成15(2003)年4月 第2代音楽監督に大植英次が就任(～平成24(2012)年3月)          平成24(2012)年4月 公益社団法人大阪フィルハーモニー協会に移行          平成28(2016)年7月 大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会を開催          平成30(2018)年4月 第3代音楽監督に尾高忠明が就任          令和4(2022)年4月 楽団創立75周年を迎える</p>				
<p><b>学校等における 公演実績</b></p>	<p>昭和22年、大阪フィルハーモニー交響楽団の前身である「関西交響楽団」の結成当初から、オーケストラの普及活動のために、学校の体育館や地元施設等、様々な会場で学生のための公演を重ねています。</p> <p>近年では令和元年度・6回、令和2年度・1回、令和3年度・2回、令和4年度・10回、令和5年度・9回(予定)、学校を対象にした公演を開催しているほか、小編成によるアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでおり、令和元年度・24回、令和2年度・8回、令和3年度・11回、令和4年度・14回、令和5年度・15回(予定)、幼稚園や小中学校の体育館で演奏会やワークショップを行っています。</p> <p>連携協定を結ぶ枚方市との共同事業として、令和4年度より「枚方ジュニア・ウィンド・オーケストラ」の活動を開始、楽団員を講師として派遣して約40名の中高生に向けて指導を行っています。</p> <p>また、平成11年から開催している自主事業「親子のためのオーケストラ体験教室」は、今年で24年目を迎えたロングラン企画となり、通算公演回数は90回、観客動員数は延べ2万6千人を超えています。そのほか、企業や公益法人、自治体からの依頼による「ファミリーコンサート」なども手掛けています。</p>				
<p><b>特別支援学校等における 公演実績</b></p>	<p>平成21年度 奈良西養護学校(文化庁「本物の舞台芸術体験事業」)          平成26年度 柏崎特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」)          平成29年度 福岡市立南福岡特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」)          平成30年度 東京都立南花畑特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供の育成事業」)          令和元年度 兵庫県立いなみ野特別支援学校(文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」)</p>				
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://1drv.ms/v/s!Aqf8wRBIm9iHiAFLFV073jlDZ2rG?e=FVldNe">https://1drv.ms/v/s!Aqf8wRBIm9iHiAFLFV073jlDZ2rG?e=FVldNe</a></p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	Enjoy! オーケストラ!			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1. スッペ/喜歌劇「軽騎兵」序曲 (7分)</p> <p>2. 【楽器紹介】ボブ佐久間/インストゥルメンタル・ブルース (8分)</p> <p>3. アンダーソン/シンコペーテッド・クロック (3分)</p> <p>4. アンダーソン/トランペット吹きの日 (3分)</p> <p>5. 【指揮者体験コーナー】オーケストラを指揮してみよう! ~ベートーヴェン/交響曲 第5番「運命」第1楽章より~ (15分)</p> <p>6. ベートーヴェン/交響曲 第5番「運命」第1楽章 (6分)</p> <p>~~~~休憩~~~~ (10分)</p> <p>7. 【小学生】【ボディ・パーカッション共演】自分の身体を使ってオーケストラと共演してみよう! (10分)</p> <p>【中学生】【オーケストラ分解演奏】それぞれの楽器の役割を勉強しよう!</p> <p>~チャイコフスキー/バレエ音楽「白鳥の湖」より~ (10分)</p> <p>8. 大栗 裕/大阪俗謡による幻想曲(カット版) (6分)</p> <p>9. 【全員合唱】オーケストラと一緒に歌ってみよう! ~校歌、Believe、翼をくださいなど~ (4分) ※</p> <p>10. ワーグナー/楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲 (10分)</p> <p>(アンコール)J.シュトラウスI世/ラデツキー行進曲 (3分)</p> <p>※学校からの要望に合わせて、その他の合唱曲での共演、吹奏楽部や金管バンドとの共演などにも変更可能です。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	※別添あり(別添②参照)			
演目選択理由	※別添あり(別添②参照)			
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>【指揮者体験コーナー】 最大3名の児童・生徒に、実際にオーケストラを指揮していただきます。指揮してもらう作品はベートーヴェンが作曲した交響曲第5番「運命」の第1楽章冒頭。最もよく知られた作品の一つでプロのオーケストラを指揮できるまたとない機会です。指揮の方法などは指揮者が事前にレクチャーしますので、初めてでも安心してご参加いただけます。</p> <p>【ボディ・パーカッション共演】 手拍子や足踏みなど自分の身体を使って音を出す「ボディ・パーカッション」を、オーケストラに合わせて一体となって共演いただけます。打楽器のメンバーと一緒に楽譜を見ながら練習を行いますので、その場で誰でも参加可能です。オーケストラと一緒に、自分たちでリズムを奏するという醍醐味を体感いただけます。</p> <p>【合唱共演】 普段ピアノ伴奏で歌唱している校歌や合唱曲などを、オーケストラに合わせて一緒に歌っていただく共演です。なお、学校からの要望に応じて、吹奏楽部や金管バンドとの共演などにも変更可能です。</p>			
出演者	<p>指揮: 中井 章徳(なかい あきとく)</p> <p>管弦楽: 大阪フィルハーモニー交響楽団(3管12型) ※別紙「No.2メンバー表」参照</p> <p>【編成】Fl &amp; Pic:3, Ob:3, Cl:3, Fg:2 Hr:4, Tp:3, Tb:3, Tub:1 Timp:1, Per:4 Hp:1</p> <p>1stVn:12, 2ndVn:10, Vla:8, Vc:6, Cb:4</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 69 名	運搬	積載量: 4 t	
	スタッフ: 10 名		車長: 8.15 m	
	合計: 79 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時	1時～2時半	10分	3時～5時	5時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	0日	0日	0日	0日	5日	
	11月	12月	1月	計	10日	
	5日	0日	0日			
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	会場収容人数内であれば制限なし
		鑑賞人数目安	会場収容人数内であれば制限なし

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



オーケストラは体育館の舞台上は使用せず、舞台前のフロアを使用して演奏いたします。  
オーケストラの専有面積は奥行13m×横幅18mです。  
それ以外のフロアは鑑賞スペースとしてご利用いただけます。

【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	会場収容人数内であれば制限なし
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>①課外授業&amp;ミニコンサート 3名の楽団員が学校を訪問し、45分(or 50分)の授業時間に合わせて課外授業&amp;ミニコンサートを 行います。</p> <p>(1)オーケストラとは？(5分) オーケストラとはどのような団体なのか、どんな楽器が集まっているのか、オーケストラを構成する 楽器の種類(弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器)を紹介し、楽器の仕組みや奏法の違いなど を簡単に説明いたします。</p> <p>(2)弦楽器の説明と演奏(15分) オーケストラの主要楽器である弦楽器の楽団員が、弦楽器の仕組みや演奏の仕方について 説明します。そのあと実際に演奏も聴いていただき、弦楽器の音色をお楽しみいただけます。</p> <p>(3)管楽器の説明と演奏(15分) 続いて管楽器の楽団員が、管楽器の仕組みや、木管と金管の違い、演奏の仕方について 説明します。そのあと実際に演奏も聴いていただき、弦楽器とは一味違う管楽器の音色を お楽しみいただけます。</p> <p>(4)質問コーナー(5分) ここまでの説明で疑問に思ったことや、楽団員に聞きたいことを質問するコーナーです。</p> <p>(5)全員での演奏(5分) これまで説明した各楽器が一緒になった演奏をお楽しみいただけます。2つ以上の楽器が 重なったときの音の広がりやアンサンブルなどを体感いただけます。</p> <p>②吹奏楽部(金管バンド・オーケストラ部)へのレッスン 3名の楽団員が学校を訪問し、クラブの活動時間に合わせて吹奏楽部や金管バンド、オーケストラ 部などへレッスンをを行います。本公演でオーケストラと共演する作品や、いま取り組んでいる作品の パートレッスンや合奏指導など、学校のご要望に応じて指導を行います。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>①課外授業&amp;ミニコンサート 本公演を前に、オーケストラを構成する楽器について、またそれぞれの楽器の仕組みや違い、 演奏の方法を知っていただくことで、オーケストラへの関心を持っていただき、事前にオーケストラの 知識を高めていただくことで、本公演をより楽しんでいただけるような時間といたします。 また、少人数での演奏でも生まれる音の重なりや広がり、70名のフルオーケストラの演奏になるど どのような音の響きになるのか、会場いっぱい広がるサウンドを想像していただき、本公演への 期待を高めます。</p> <p>②吹奏楽部(金管バンド・オーケストラ部)へのレッスン プロのオーケストラ奏者から直接レッスンを受けることで、これからのクラブ活動に繋がるような 技術や経験、知識などを享受することができ、これからの音楽活動をより楽しめるものといたします。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>①課外授業&amp;ミニコンサート 生徒数や実情に合わせて、低学年と高学年に分けて開催したり、特定の学年を対象にした ワークショップを開催するなど、各校のご要望に応じて柔軟に対応させていただきます。</p> <p>②吹奏楽部(金管バンド・オーケストラ部)へのレッスン 各校のクラブ活動時間に合わせて、スケジュールが合えば平日だけでなく土日でも訪問して レッスンを行うことが可能です。また、1回の訪問でパートレッスンと合奏指導の両方を行うなど 各校のご要望に応じて柔軟に対応させていただきます。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>この事業が、児童・生徒の皆さまにとって初めて生のオーケストラを目の前で見て聴いて体感するコンサートであり、クラシック音楽を身近に感じていただける貴重な機会であることを理解したうえで、オーケストラの魅力や迫力あるサウンド、そして本格的なクラシック音楽の醍醐味を感じていただけるプログラムをお届けいたします。</p> <p>本公演前に開催するワークショップでは、事前にオーケストラを構成する各楽器の種類や仕組み、演奏の仕方などを学んでいただき、一日も早く本公演でフルオーケストラの演奏を聴きたいと思っただけのようなワークショップとなるよう、事務局を挙げて各校のご要望に合わせて取り組んでまいります。</p> <p>本公演については、本格的なクラシック曲を大阪フィルが誇る迫力のあるオーケストラサウンドでお楽しみいただけるプログラムをご用意いたしました。オープニングのスッペ作曲「軽騎兵」序曲からメインのワーグナー作曲「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲まで、目前で繰り広げられるオーケストラのダイナミックなサウンドを全身で感じていただける作品です。また、アンダーソンの作品や、ベートーヴェンの「運命」第1楽章などは、誰もが一度は耳にしたことのある旋律が登場し、普段スピーカーなどを通して聴いている作品を生演奏で聴くことで、オーケストラの醍醐味を味わっていただけます。</p> <p>大栗裕作曲「大阪俗謡による幻想曲」はあまり馴染みのない作品ではありますが、大栗裕は元大阪フィルのホルン奏者でもあることから、我々の大切なレパートリーの一つとして演奏を繋いでいくとともに、邦人作曲家の存在も広く知っていただくきっかけとなるように取り組んでまいります。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <p>[効果的に実施するための工夫]</p> <p>本公演では単純にオーケストラ演奏を鑑賞いただくだけではなく、様々な共演コーナーを組み込むなど多彩なプログラムにすることで、飽きの来ない有意義な演奏会となるよう工夫を施しています。オープニングの演奏後に楽器紹介用の作品としてボブ佐久間作曲の「インストゥルメンタル・ブルース」を組み込み、演奏に乗せてオーケストラを構成する楽器の種類を説明いたします。それぞれの楽器の特徴や音色の違いを最初に知っていただくことで、この先の鑑賞がより充実したものとなるようにいたします。</p> <p>休憩を挟んだ後半には、ボディ・パーカッション共演や合唱共演などのオーケストラとの共演プログラムを組み込んでいます。前半でオーケストラや指揮者についての知識を深めていただき、後半ではオーケストラとの共演プログラムを通じてさらにオーケストラの醍醐味を味わっていただけるように工夫しています。</p> <p>本公演の司会進行は指揮者自らが行き、オーケストラを初めて鑑賞する児童・生徒の皆さまに少しでも興味を持っていただけるような進行を心がけます。今回取り上げる作品にまつわる背景や作曲家が楽譜に込めた思いなど、専門的な知識を指揮者自身の言葉で児童・生徒の皆さまにわかりやすく説明いたします。</p> <p>また、本公演に先立つワークショップでは、B1サイズのオーケストラの演奏写真を印刷したポスターを持参して、オーケストラの構成を説明する際に使用いたします。オーケストラとはどのようなグループなのか、各セッションごとの配置はどうなっているのかなど、写真を見ながら説明を受けることで、より具体的にオーケストラをイメージいただけます。なお、このB1サイズのポスターは各校にプレゼントいたしますので、ワークショップ終了後から校内に掲示いただくことで、本公演に向けての期待感を自然と高めることが可能となるよう工夫しています。</p> <p>[円滑に実施するための工夫]</p> <p>ワークショップに事務局およびステージスタッフが同行し、本公演に向けてトラックの進入路や楽器の搬入出経路に支障がないか、演奏会場や控室となる教室など、現場を入念に下見および確認して打ち合わせさせていただきます。</p> <p>また、各学校の実情に合わせて、ワークショップおよび本公演とも進行方法や内容、開催時間等について、学校の希望に沿った形で開催できるように連携して準備を進めてまいります。</p>
--	--

リンク先	No.1	【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団 】
項目内容	<p><b>【制作団体組織】</b></p> <p>■ 役職員 理事長:奥 正之 常務理事:小川 弘 常任理事:角元敬治、近藤泰正、新沼 宏、福田里香、松村孝夫、室町鐘緒、森崎健志 理事:安藤恭輔、大場英幸、小原一泰、川合陽一郎、斉藤裕典、多賀谷克彦、玉井順一、永井靖二、中谷敏昭、西岡信雄、東 寿、三村千賀、三宅克典、山本卓彦 監事:長田晃一、森下文夫 楽団員:65名(内、特別契約4名) 事務局員:17名(常勤雇用)</p> <p>■ 団体構成員及び加入条件等</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 正会員数:455社(名) (令和5年9月末現在) (内訳)法人会員:235社/個人会員:220名</li><li>2. 加入条件 この法人の目的に賛同して入会した個人または法人で、毎年下記の会費を拠出するもの 会費 法人 年額20万円/口 個人 年額 5万円/口</li></ol>	

リンク先	No.2	【公演団体名 大阪フィルハーモニー交響楽団 】
項目内容	<p><b>【演目概要】</b></p> <p>大阪フィルが誇る迫力のあるオーケストラサウンドを体感いただける本格的なクラシック作品と様々な体験型プログラムをご用意いたしました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.オープニングはスッペの喜歌劇「軽騎兵」序曲で華やかに演奏会の幕開けです。喜歌劇のオープニングにふさわしいトランペットのファンファーレで、子どもたちの心をつかみます。</li> <li>2.オーケストラを構成するそれぞれの楽器を、ボブ佐久間作曲「インストゥルメンタル・ブルース」の演奏に乗せて紹介し、各楽器の音色をお楽しみいただきます。</li> <li>3.ユーモアあふれる作品で知られるアメリカを代表する作曲家の一人、ルロイ・アンダーソンの作品から、時計がシンコペーションのリズムを刻む「シンコペーテッド・クロック」を演奏します。</li> <li>4.続いてルロイ・アンダーソンの作品から、運動会のBGMでもおなじみの「トランペット吹きの休日」をお届けします。トランペットパートの疾走感あふれる演奏にご注目ください。</li> <li>5.ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」の冒頭を代表の児童・生徒(最大3名)に指揮していただき、指揮する人によってどのように演奏が変化するのも合わせて体感いただきます。</li> <li>6.クラシック音楽史上最も知られている作品の一つである、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」冒頭のジャジャジャジャーから始まる第1楽章を迫力ある演奏で味わっていただきます。</li> <li>7.[小学生]ボディ・パーカッション共演 手拍子や足踏みなど自分の身体を使って音を出し、オーケストラに合わせて演奏いただきます。</li> <li>7.[中学生]オーケストラ分解演奏 チャイコフスキー作曲「白鳥の湖」を題材に、作曲家が各楽器に与えた描写や役割などを実演を交えながらわかりやすく解説します。</li> <li>8.大阪フィルのレパートリーの一つとして演奏している大栗裕作曲「大阪俗謡による幻想曲」大阪の賑やかなお祭りの様子などを表現しています。様々な打楽器の活躍にもご注目ください。</li> <li>9.オーケストラの伴奏に合わせて、校歌や合唱曲などを歌唱いただきます。なお、学校からの要望に応じて、吹奏楽部や金管バンドとの共演などにも変更可能です。</li> <li>10.演奏会の最後はワーグナー作曲「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲 大阪フィルの迫力あるサウンドを存分に味わっていただける作品で演奏会を締めくくります。ダイナミックな演奏を最後までお楽しみください。</li> </ol> <p><b>【演目選択理由】</b></p> <p>単純にオーケストラを鑑賞してもらうだけではなく、フルオーケストラの迫力あるサウンドと本格的なクラシック作品をお楽しみいただきつつ、様々な共演プログラムを通してオーケストラの醍醐味を味わっていただける「見て・聴いて」「体感して」という体験型のプログラムをご用意いたしました。</p> <p>①見て・聴いて オープニングのスッペ作曲「軽騎兵」序曲から、メインのワーグナー作曲「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲まで、大阪フィルが誇る迫力あるサウンドをお楽しみいただける名曲の数々をご用意いたしました。 本格的なクラシック音楽でオーケストラを身近に感じていただくほか、普段授業で使用している体育館がコンサートホールとなり、会場いっぱい響きわたるフルオーケストラのダイナミックなサウンドを全身で体感いただけます。 また、元大阪フィルのホルン奏者でもあった大栗裕氏が作曲した「大阪俗謡による幻想曲」は大阪フィルの大切なレパートリーの一つであり、大阪の賑やかな雰囲気や伝統的なお祭りの様子などをイメージして知っていただくきっかけになれば幸いです。</p> <p>②体感して 指揮者体験コーナー、ボディ・パーカッション共演や合唱共演などオーケストラとの共演を通してこの演奏会で初めてオーケストラを聴いた児童・生徒の皆さまにオーケストラやクラシック音楽を身近に感じていただき、演奏会をより楽しんでいただける体験型プログラムを充実させています。指揮者体験コーナーでは指揮する人によって、オーケストラの演奏にどのような変化が生まれるのかを目の前で感じていただくほか、ボディ・パーカッション共演では手拍子や足踏みなど、自分の身体を使って奏でた音とオーケストラで共演し、楽しく演奏に参加していただきます。また合唱共演では普段はピアノ伴奏で歌唱している校歌や合唱曲などをオーケストラの伴奏で歌えるまたとない機会です。ぜひオーケストラとの共演に向けて、音楽の授業でも意欲的に取り組んでいただくきっかけになれば幸いです。</p>	



## 大阪フィルハーモニー交響楽団 メンバーリスト

(令和5年10月1日現在)

## ソロ・コンサートマスター

崔 文洙

## コンサートマスター

須山 暢大

## アシスタント・コンサートマスター

尾張 拓登

## 第一ヴァイオリン

石塚 海斗  
石原 優香  
神崎 悠実  
黒瀬 奈々子  
三瀬 麻起子  
鈴木 玲子  
表 ボルン  
藤木 愛  
力武 千幸

## ヴィオラ

井野邊 大輔  
岩井 英樹  
川元 靖子  
芝内 もゆる  
周 平  
菅崎 舞  
松本 浩子

## フルート

井上 登紀  
田中 玲奈  
野津 臣貴博

## ホルン

伊藤 数仁  
蒲生 絢子  
高橋 将純  
藤原 雄一  
和久田 侑希

## 第二ヴァイオリン

浅井 ゆきこ  
市野 桂子  
久貝 ひかり  
小林 亜希子  
高木 美恵子  
田中 美奈  
中西 朋子  
宮田 英恵  
横山 恵理

## チェロ

石田 聖子  
近藤 浩志  
庄司 拓  
花崎 薫  
林口 真也  
松隈 千代恵

## オーボエ

大島 弥州夫  
大森 悠  
水村 一陽

## トランペット

篠崎 孝  
高見 信行

## クラリネット

田本 摂理  
船隈 慶トロンボーン  
ロイド・タカモト  
福田 えりみ

## コントラバス

秋田 容子  
浅野 宏樹  
サイモン・ポレジャエフ  
松村 洋介  
三好 哲郎  
山田 俊介

## ファゴット

久住 雅人  
小林 佑太郎  
日比野 希美

## テューバ

川浪 浩一

## 打楽器

井口 雅子  
中村 拓美  
堀内 吉昌

## ハープ

平野 花子